

# 宮崎県感染症週報

## ■ 宮崎県第27週の発生動向

定点医療機関からの報告総数は1,532人(定点あたり46.4)で、前週比113%と増加した。

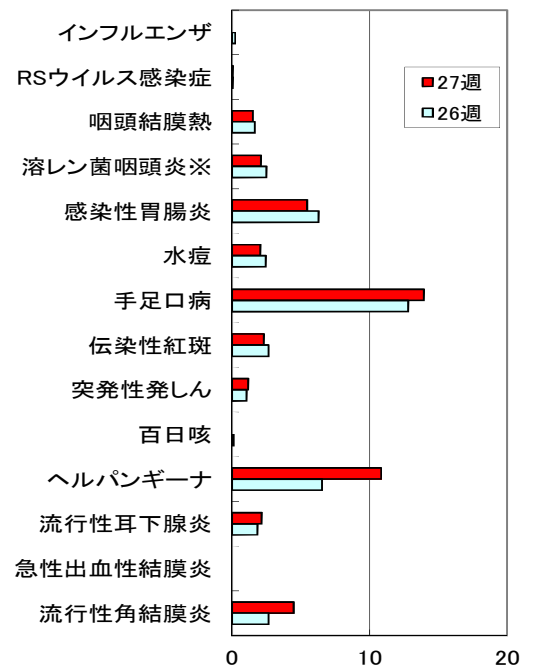
前週に比べ増加した主な疾患はヘルパンギーナと手足口病で、減少した主な疾患は水痘であった。

ヘルパンギーナの報告数は391人(10.9)で前週比166%と増加した。例年同時期の定点あたり平均値(4.9)の約2.2倍である。県全体で警報レベルを超えており、小林(22.0)、日南(19.3)、都城(10.8)保健所からの報告が多かった。年齢別では6ヶ月から3歳で全体の約8割を占めた。

手足口病の報告数は502人(13.9)で前週比109%と増加した。例年同時期の定点あたり平均値(4.6)の約3倍である。県全体で警報レベルを超えており、小林・中央(各22.0)、延岡(21.8)、日向(18.0)保健所からの報告が多かった。年齢別では1歳から4歳で全体の約8割を占めた。

マイコプラズマ肺炎1人が延岡保健所から報告された。患者は5歳の男児で原因菌は *Mycoplasma pneumoniae* であった。

《前週との比較》

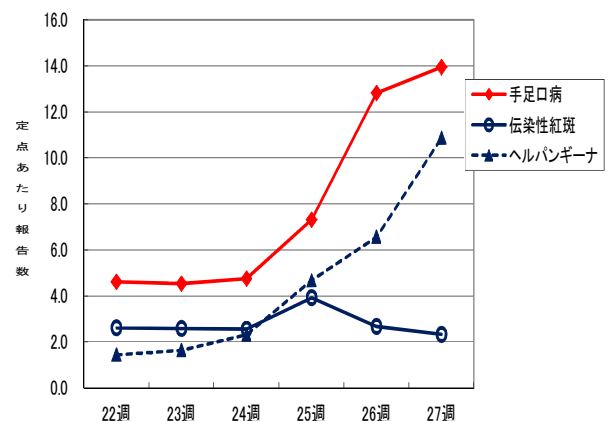


《定点あたり報告数》  
※A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

## □ 保健所別流行警報開始基準値超過疾患

保健所名	流行警報開始基準値超過疾患
宮崎市	手足口病(13.5)、伝染性紅斑(2.2)、ヘルパンギーナ(10.6)
都城	手足口病(8.8)、伝染性紅斑(2.2)、ヘルパンギーナ(10.8)
延岡	咽頭結膜熱(5.0)、手足口病(21.8)、伝染性紅斑(4.8)、ヘルパンギーナ(6.5)
日南	手足口病(10.7)、伝染性紅斑(2.7)、ヘルパンギーナ(19.3)
小林	手足口病(22.0)、ヘルパンギーナ(22.0)
高鍋	手足口病(8.5)、ヘルパンギーナ(7.0)
高千穂	なし
日向	咽頭結膜熱(3.5)、手足口病(18.0)、伝染性紅斑(4.5)、ヘルパンギーナ(8.0)
中央	手足口病(22.0)、ヘルパンギーナ(9.0)

流行警報開始基準値超過疾患推移



## □ 疾患別流行警報開始基準値超過疾患

	流行警報	定点あたり報告数		年 齢 分 布
	開始基準値	宮崎県全体	基準値を超えた保健所	
咽頭結膜熱	3	1.5	延岡(5.0)、日向(3.5)	1歳～3歳で全体の約半数を占めた。
手足口病	5	13.9	小林・中央(各22.0)、延岡(21.8)、日向(18.0)、宮崎市(13.5)、日南(10.7)、都城(8.8)、高鍋(8.5)	1歳～4歳で全体の約8割を占めた。
伝染性紅斑	2	2.3	延岡(4.8)、日向(4.5)、日南(2.7)、宮崎市・都城(各2.2)	3歳～7歳で全体の約7割を占めた。
ヘルパンギーナ	6	10.9	小林(22.0)、日南(19.3)、都城(10.8)、宮崎市(10.6)、中央(9.0)、日向(8.0)、高鍋(7.0)、延岡(6.5)	6ヶ月～3歳で全体の約8割を占めた。

## ■ 全数把握対象疾患

- 1 類感染症 : 報告なし。
- 2 類感染症 : 結核 7 例が宮崎市 (4 例)、日南 (2 例)、延岡 (1 例) 保健所から報告された。  
 《宮崎市保健所》・80 歳代の男性で肺結核。咳、痰、発熱、呼吸困難がみられた。  
 ・20 歳代の女性で無症状病原体保有者。  
 ・50 歳代の男性で肺結核。  
 ・60 歳代の女性で無症状病原体保有者。  
 《延岡保健所》・50 歳代の女性で無症状病原体保有者。  
 《日南保健所》・50 歳代の男性で無症状病原体保有者。  
 ・40 歳代の男性で無症状病原体保有者。
- 3 類感染症 : 腸管出血性大腸菌感染症 6 例が都城保健所から報告された。  
 ・1 歳の男児で水様性下痢がみられた。原因菌は O26 (VT1、VT2 産生)。  
 ・3 歳の女児で無症状病原体保有者。原因菌は O26 (VT1、VT2 産生)。  
 ・20 歳代の男性で無症状病原体保有者。原因菌は O26 (VT1、VT2 産生)。  
 ・11 ヶ月の女児で水様性下痢がみられた。原因菌は O26 (VT1、VT2 産生)。  
 ・10 ヶ月の女児で水様性下痢がみられた。原因菌は O26 (VT 産生)。  
 ・4 歳の男児で無症状病原体保有者。原因菌は O26 (VT1、VT2 産生)。
- 4 類感染症 : 日本紅斑熱 1 例が都城保健所から報告された。60 歳代の男性で発熱、頭痛、刺し口、発疹、肝機能異常、筋肉痛がみられた。
- 5 類感染症 : ○ 急性脳炎 2 例が宮崎市保健所から報告された。  
 ・2 ヶ月の男児で発熱、痙攣、意識障害がみられた。  
 ・2 ヶ月の女児で発熱、痙攣、意識障害がみられた。  
 ○ 破傷風 1 例が宮崎市保健所から報告された。70 歳代の男性で筋肉のこわばり、開口障害、嚥下障害、発語障害、痙攣、反弓緊張がみられた。

## □ 26 週追加分

腸管出血性大腸菌感染症 8 例が日南保健所から報告された。全て無症状病原体保有者で、原因菌は O26 (VT1 産生)。

## ■ 全国第 26 週の発生動向

定点医療機関あたりの患者報告総数は 22.4 で、前週比 111%と増加した。今週増加した主な疾患は手足口病とヘルパンギーナで、減少した主な疾患はインフルエンザと伝染性紅斑であった。

手足口病の報告数は 22,506 人 (7.2) で、前週比 168%と増加した。佐賀県 (38.4)、福岡県 (31.6)、愛媛県 (27.2) からの報告が多く、年齢別では 1 歳から 4 歳で全体の約 8 割を占めた。

ヘルパンギーナの報告数は 6,973 人 (2.2) で、前週比 160%と増加した。徳島県・鹿児島県 (各 8.8)、宮崎県 (6.6)、香川県 (5.9) からの報告が多く、年齢別では 1 歳から 4 歳で全体の約 7 割を占めた。

### □全数把握対象疾患

1 類感染症 : 報告なし。

2 類感染症 : 結核 379 例

3 類感染症 : 細菌性赤痢 3 例、腸管出血性大腸菌感染症 63 例、腸チフス 1 例

4 類感染症 : E 型肝炎 1 例、A 型肝炎 1 例、つつが虫病 4 例、日本紅斑熱 8 例、レジオネラ症 20 例

5 類感染症 : アメーバ赤痢 8 例、ウイルス性肝炎 4 例、急性脳炎 1 例、クロイツフェルト・ヤコブ病 1 例、劇症型溶血性レンサ球菌感染症 4 例、後天性免疫不全症候群 13 例、ジアルジア症 1 例、髄膜炎菌性髄膜炎 1 例、梅毒 9 例、破傷風 1 例、風疹 6 例、麻疹 13 例

宮崎県 感染症情報

(72定点医療機関)

2011年 第27週(07月04日～07月10日)

疾病名		第26週	第27週	宮崎市	都城	延岡	日南	小林	高鍋	高千穂	日向	中央
インフルエンザ	報告数	15										
	定点あたり	0.25	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
RSウイルス 感染症	報告数	3	3	2	1							
	定点あたり	0.08	0.08	0.20	0.17	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
咽頭結膜熱	報告数	60	55	6	8	20	3		4		14	
	定点あたり	1.67	1.53	0.60	1.33	5.00	1.00	0.00	1.00	0.00	3.50	0.00
A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	報告数	90	76	21	9	14	4	4	7	2	11	4
	定点あたり	2.50	2.11	2.10	1.50	3.50	1.33	1.33	1.75	2.00	2.75	4.00
感染性胃腸炎	報告数	227	197	27	43	17	11	40	13	4	28	14
	定点あたり	6.31	5.47	2.70	7.17	4.25	3.67	13.33	3.25	4.00	7.00	14.00
水痘	報告数	89	75	20	10	18	3	6	6	3	9	
	定点あたり	2.47	2.08	2.00	1.67	4.50	1.00	2.00	1.50	3.00	2.25	0.00
手足口病	報告数	461	502	135	53	87	32	66	34	1	72	22
	定点あたり	12.81	13.94	13.50	8.83	21.75	10.67	22.00	8.50	1.00	18.00	22.00
伝染性紅斑	報告数	96	84	22	13	19	8		4		18	
	定点あたり	2.67	2.33	2.20	2.17	4.75	2.67	0.00	1.00	0.00	4.50	0.00
突発性発しん	報告数	39	43	11	7	4	4	2	6		6	3
	定点あたり	1.08	1.19	1.10	1.17	1.00	1.33	0.67	1.50	0.00	1.50	3.00
百日咳	報告数	5										
	定点あたり	0.14	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
ヘルパンギーナ	報告数	236	391	106	65	26	58	66	28	1	32	9
	定点あたり	6.56	10.86	10.60	10.83	6.50	19.33	22.00	7.00	1.00	8.00	9.00
流行性耳下腺炎	報告数	67	78	46	13	4	4		6	5		
	定点あたり	1.86	2.17	4.60	2.17	1.00	1.33	0.00	1.50	5.00	0.00	0.00
急性出血性結膜炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						
流行性角結膜炎	報告数	16	27	20		7						
	定点あたり	2.67	4.50	6.67	0.00	7.00						
細菌性髄膜炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
無菌性髄膜炎	報告数	1										
	定点あたり	0.14	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
マイコプラズマ肺炎	報告数		1			1						
	定点あたり	0.00	0.14	0.00	0.00	1.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
クラミジア肺炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	

インフルエンザ定点:59、小児科定点:36(インフルエンザ定点を兼ねる)、眼科定点:6、基幹定点:7

上段:報告数  
下段:定点当り報告数

●全数把握対象疾患累積報告数(2011年第1週～27週)

2類感染症	結核	148例(7)				
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	34例(6)				
4類感染症	A型肝炎	1例	チクングニア熱	1例	つつが虫病	2例
	日本紅斑熱	2例(1)				
5類感染症	アメーバ赤痢	7例	ウイルス性肝炎	1例	急性脳炎	5例(2)
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1例	髄膜炎菌性髄膜炎	2例	後天性免疫不全症候群	6例
	梅毒	5例	破傷風	6例(1)	風しん	1例
	麻疹	1例				

●動物感染症累積報告数(2011年1週～27週)(参考)

指定感染症	鳥インフルエンザ(H5N1)の鳥類	20例
-------	-------------------	-----

( )内は今週届出分、再掲